

グループホーム旭ヶ丘園

(参考様式1)

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	旭生会「尊厳に立つ」を理念として掲げています。新入職時には「理念の理解」として意味を読み深め、職場内研修においても理念を共有し実践に繋げることができるようになっています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	運営推進会議や避難訓練の際に民生委員の方に参加していただいたり地域の方へお声かけはしているがコロナ禍に開所した施設であり特に近隣住民の方との交流機会が少ない。 ご入居様とグループホーム周辺を散歩をする際に地域の方と挨拶を交わしている程度で日常交流は出来ていない。	コロナ禍で地域に存在していた交流の機会がそもそも少なくなった、地域の人同士ですらその状況だから、地域の人との関わり合いはなかなか難しい。 交流機会は以前であればいくつもあり、自分たちが出向けば交流が出来たが現在は出向く場所がなくなっている。大小かわらずイベントを企画できれば交流機会ができると思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	2ヶ月毎に運営推進会議を実施しています。今年度は現地開催3回書面での開催3回となりました。グループホームでの取り組みや状況を写真を交えて報告し、頂いた意見や助言を活かしながらサービスの向上へ繋げています。書面開催の場合でも同様に個別に報告しています。	今年度は新型コロナウイルス感染に加えインフルエンザも流行した事もあり、書面での開催が半分となった。予定した日程を変更することは難しい、今後も書面開催でも意見を反映しサービスの向上に繋げるよう取り組む。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今年度は介護サービス相談員の受け入れを行い、市の職員の方から直接ご入居様へ困りごと等の聞き取りを行って頂きました、改善する点は特にありませんでしたが今後も受け入れを継続します。来年度は介護報酬改定もありますので運営にあたり不明な	市の担当者と日頃から連絡を取り、時に意見やアドバイスを受けられるように実施している。		

				点は市の担当者に相談し進めて参ります。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	言葉使い、不適切なケアについては職場内研修を行い、日常的にも指導を行っています。身体拘束適正化の為の指針に沿って、3ヵ月毎の身体拘束委員会、年に2回の職員勉強会を実施し身体拘束をしないケアの取り組みを実施しています。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	フィジカルな身体拘束以外にも、不適切なケアを行わない様に研修等も実施している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止の為の指針を整備、定期的に勉強会を開き虐待についての様々なケースを学び、虐待の芽チェックリストを活用する等虐待防止に取り組んでいます。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止の為の指針の説明、年間計画、会議録を確認。動画等も活用し虐待防止に繋げている。基準に沿った対応が出来ている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	成年後見人制度を活用しているご入居者様が2名いらっしゃいます。管理者やリーダーについては後見人制度について理解していますが職員向けの学びの機会が少ない為今後勉強会などを行う必要がある。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居前・入居時にご本人、ご家族へ重要事項説明書・契約書・料金等について説明を行い同意を頂いています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	運営推進会議の際ご家族より意見を頂くほか、日常的な意見やご要望についてはコミュニケーションアプリ「ライン」や「メール」でご家族とつながる事により、意見を伝えやすい環境作りを行っています。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	意見箱等は設置していない。ネット等を活用し工夫している。

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年に2回職員面談を行う他に普 段から運営について管理者とコミ ュニケーションを図っている。 また、毎月のユニット会議に管理 者も出席し意見を聞く機会を設け 意見の反映を行っています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	アイディア提案制度の導入を行う 事でスタッフが意見を伝えやすい 環境を作り、年に2回人事考課 制度を活用して評価を行い、「努 力している所・成果を上げた所・ 今の課題・努力が必要な所」を明 確化・面談で活用する事でやりが いと目標をもって働けるように取 り組んでいます。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	人事考課制度の説明。 業務力考課表・働き方の指針・年2 回の面談を行っている。 アイディア提案等モチベーションアッ プを図る対応をしている。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今年度は喀痰吸引研修1名参加 し資格取得しており来年度も1名 参加予定です。その他認知症の 研修や身体拘束虐待の研修など オフライン・オンライン両方参加し ています。人材育成に繋げケア の質の向上に取り組んでいます。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年間の研修参加は22件 OJTだけでなく各種研修参加の機 会もあり職員のキャリア形成に取り 組んでいます。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今年度はファーストステップ研修 に参加し職員同士のネットワーク 作りに繋がった様です。 交流会の機会はまだまだ少ない ですがグループホームの横の繋 がりを広げられるように進めて参 ります。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホームにおける在り方を 赤本を読み合わせスタッフと共有 する事で認識を高め、個人の能 力に合わせて家事に取り組んで 頂いたり、家庭菜園などできる事 を模索しながら一緒に行っていま す。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	昔馴染みの場所にご本人とお食事に出かけたり、携帯電話をお持ちの方は充電等の管理やスタッフから馴染みの方への電話の提案を行っています。馴染みの方から電話があった際には面会できる事をこちらから伝え、関係が疎遠にならない様に働きかけました。	入所するとそれまでの関係が遠くなる傾向にある。コロナは5類になったとはいえ面会を自粛されるケースも多く馴染みの方から連絡も控える事もあった。 グループホームから後か家族・馴染みの方へアプローチし面会や電話をかけてご本人に繋ぐなどの支援を行っている。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人の思いが訴えられる方についてはコミュニケーションを図り把握に努めていますが、思いをうまく話せない方については、表情や発する言葉からその方の立場に立って把握するようにしています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアプラン更新時には本人・ご家族の意向を確認し関係事業所より意見を頂きながらアセスメントを基に介護計画を作成しています。	介護計画書、基本情報、課題分析を確認する。今後も継続。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	基準通りにプラン作成をしている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	睡眠状態を見える化できる眠りスキャンや介護ソフトを利用し睡眠状態、睡眠中の脈拍・呼吸数、ケース記録や食事量、バイタル等の様々な情報を集約し統計を取る事で推測ではなく実績とした根拠あるケアに結び付ける事ができています。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護ソフトほのぼの・眠りスキャンの活用を確認。 科学的エビデンスも基にして個別のケアが出来ている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人の状況に合わせ支援内容を変更しています。特に認知症があるご入居者様は夕方から夜にかけて帰宅願望や徘徊がみられます。遅番スタッフの勤務時間を11時から20時にする事で落ち着かない時間帯に個別対応が出来るようにしています。	柔軟な支援・サービスの多機能化について取り組んでいる。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ☒ あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の把握はできますが活用できない事も多いです。その他ご希望時に訪問販売車の買い物・外出支援・移動図書館の利用を行っています。	地域資源の把握には難しいケースもある。入居前の情報やご家族からの情報を把握する様に務めている、他にも移動図書館や訪問販売車の活用も行っている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ☒ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様はご本人ご家族と相談しながら往診の主治医の先生に介入して頂き日常的な健康管理を行っています。但し治療方針に関してはご本人が判断する困難なケースもあり時間をかけ説明しています。専門的な診察が必要な場合は病院受診を行っています。必要時は主治医に紹介状を依頼、付添いに関しては日頃健康状態を把握している看護師が行い、的確な情報連携を行い適切な医療を受けられる様に取り組んでいます。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. ☒ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様が入院した際は基本情報・看護サマリー等の情報を提供し、同時に主治医との連携も行っています。入院中も地域連携室や看護師の方との情報共有を行っています。退院前には病院の地域連携室と連絡を取り退院時の情報や退院時処方などの調整を行い退院がスムーズに行えるように連携を行っています。		A. ☒ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の際は基本情報や看護サマリー等の情報を共有し入院・治療がスムーズに行えるように支援している。受診時・退院時の送迎はグループホームスタッフがフォローをしている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ☒ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様の状況変化時には重度化した際の対応や緊急時の対応等説明しています。必要に応じて急変時の対応や終末期のあり方やについて説明、相談を行っています。		A. ☒ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時等入居者様が比較のお元気な時からターミナルに向けてのお話が出来るとよい。(ACPの観点)

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご入居者様急変時のオンコール体制を含めた初期対応は実践できている。 応急手当で初期対応の訓練は都度看護師より指導を受けているが今後訓練も取り組んでいきたい。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	BCP 計画を策定し机上訓練を行いました。地域との協力体制が今後の課題となっています。 非常食・水は30名分3日分の準備をしています。災害・火災想定避難訓練を年に2回実施しています。訓練結果・内容は全職員に周知しています。	昨年度の反省を踏まえ、その他備品については購入し準備している。 また、災害に備え計画をたて机上訓練を行っている。 地域との協力体制といった点で今後の課題となっている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	非常食・水の備蓄は3日分ありますが、その他の備品(トイレ用品)を追加で準備している。 BCP については今後もアップデートし続ける事が大切だと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	接遇に関しての内部研修実施、動画を活用するなどしています。 その他虐待の芽チェックリストや不適切なケアチェックリストを活用し定期的に自身のケアの見直しを行っています。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	排泄ケア時はドアをその都度閉める様に心掛けたり浴室にカーテンを設置する等配慮している。その他、研修動画を活用し知識を習得するように心がけている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員の都合に合わせるのではなく、ご入居者様の体調やその時の状態に合わせて食事や入浴などの支援を行っています。 夜間は定時でのトイレ誘導やオムツ交換などの支援を行うのではなく、眠りスキャンを使用し眠りが浅い時、覚醒時にトイレ誘導やオムツ交換などの支援を行う事で睡眠の妨げにならないように配慮しています。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様と一緒に野菜を切る、調理した料理を盛り付ける、食器洗いやふき取り等を日常的に行っています。 特に今年度は行事食や食事レクリエーションを積極的に実施しています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から食事レクリエーションに取り組んでいる様子が見える。 日常の中での役割として食に関わる事が出来てより良いと思います。
	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量や栄養バランスについてはヨシケイキッチンに調理メニューを依頼しており管理栄養士が監修した食事を提供しています。 水分量は様々な種類の飲み物を準備・提供する事で必要量の水分確保につなげています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介助が必要な方は毎食後口腔ケアの支援を行っています。歯間ブラシ等準備しご入居者様に応じた対応を行っていますが、一部の自立している方の定期的な口腔内の状態把握や口腔ケア用品の交換を行っています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後もオーラルフレイル、誤嚥性肺炎防止の為に充実した対応を続けて頂ければと思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オムツ外しにより日中のオムツ使用者はいらっしゃいません。 排泄パターンや排泄内容を踏まえ個別にトイレ誘導やパット交換を行っています。 排泄の訴えができない方は排泄記録を活用しその方に合わせた排泄介助を実施しています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方に合わせた排泄のアプローチを行っています。 日中のオムツ使用者がおらず個別の排泄支援が出来ていると思います。
32	入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おおまかな入浴日や時間帯は決まっていますが、体調やご希望に合わせて入浴日は柔軟に対応しています。入浴時間もご本人と相談して決めるようにしています。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	眠りスキャンを使用し夜間の睡眠状態を把握し睡眠の妨げにならない様トイレの声掛け等のケアを行い、夜間の睡眠状態から日中のケア内容を考えアプローチする事で生活リズムの改善や一人ひとりの睡眠状態に合わせたケアを行う事が出来ています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	かかりつけ薬局の薬剤師と週に1回情報交換と服薬指導を受けながら薬の情報を把握しています。また服薬シートをかかりつけ薬局に準備してもらい誤薬予防にも努めています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	薬局の薬剤師より直接助言指導を受けている。 十分に対応できている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	夏祭りや食欲の秋と題したお祭りやドライブ、食事レク、運動会などのイベントを開催し楽しみや気分転換を図れるように努めています。個人の嗜好品に関してはご家族に持って来て頂いたり、近くの物産館へ外出し購入するなどしています。	毎月の広報誌を参照 毎月様々な活動に取り組んでいる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご希望に合わせ散歩や外出支援を行っていますが職員の配置状況からすぐに対応できない場合は時間を調整し対応しています。 慈眼寺公園や海沿いドライブ、物産館やスーパーへ買い物などを行い外出支援を行っています。	その日の気候や天気にもよりますが日常的に散歩や外での活動を行っています。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	買い物については訪問販売車や物産館・タイヨーへお連れしています。その際はご本人のお金を持ち使えるように支援しています。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	携帯電話をお持ちで管理ができない方はこちらで管理し希望時は電話をかけたり繋いだりと支援を行っています。また希望される方にはビデオ通話も提案させて頂いています。その際は安心して会話できるように居室にて行って頂いています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	共有の空間である食堂は季節を感じられる飾り物や創作物の掲示物など安らげる空間作りに取り組んでいます。食堂の席は皆様こだわりや他者との相性・認知症もある為その都度ご意見を取り入れながら席替えを行っています。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	建物内部については直接見学を行い構造や備品・飾り物を確認。1人1人に合わせた環境づくりは難しい部分もあるかと思いますが、工夫して対応されていると思います。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	概ねご自身の思いや願いに沿えるように取り組んでいます。但し認知症の進行やADLの低下に伴い出来る事が限られたり訴えが出来なくなったりする事ケースもあります。その人らしい選択が出来るように個別対応をする等取り組んでいます。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居前のアセスメントでご自身やご家族に聞き取りを行い、情報をスタッフに周知した上で支援を行っています。常連であったお店			

				へ出かけ、食事をするケースもありました。身寄りが無く情報が不足している方もいらっしゃいますがご本人の発言から情報を集めスタッフで共有し支援に繋がっています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	常勤の看護師を配置した上で訪問看護と連携し以上の早期発見早期対応（主治医へ報告往診や病院受診）に繋げ重症化を防ぐ事が出来ています。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	常勤の看護師を配置しており健康管理を行っています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	皆様個々のペースで生活して頂けるように声掛けや見守りを行っています。 これまでの暮らしの様に生活して頂くように努めていますが、共同生活にもなる為、対応できない場面もありますがご本人の意向があれば時間帯や形を変えるなど意向に沿えるように配慮しています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居前になじみのものや大切にしているものを持ってきて頂くようにご本人・ご家族にお話しています。 冷蔵庫や湯沸かしのケトルを居室に置きたいと家族より希望がありました。お湯に関しては火傷の可能性があった為ご遠慮頂くなど安全面も考慮しながら環境作りに取り組んでいます。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	馴染みの物はリロケーションダメージの軽減にも繋がると思います。 持ち込みも可能にしておりご本人が安心できる環境作りに取り組んでいる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	園での行事は毎月実施しており、季節に合わせた催しを行っています。			

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様お一人おひとりに合わせた役割や楽しみの提供を行っています。 自身で訴えが出来ない方の対応を試行錯誤しながら取り組んでいます。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の中で皆様何かしらの活動を行っています。共通する活動は体操や、レクリエーションですが個別的には、食事レク、作業レクなど様々な事を提案し一緒に活動しています。 また、集団生活が苦手な方は居室にてゆっくり時間を取りお茶を飲みながら会話するなどしています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事レクや作業レクにも積極的に取り組んでいる。 ご本人の意向に合わせて対応が来ています。 口腔体操など集団的な活動もあるが個別な活動が多い。余暇活動が充実する様に日々試行錯誤している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	交流機会が少なく近所の散歩などで顔を合わせた際に挨拶をする程度です。 コロナ禍より機会はありませんがどのように交流を進めるか今後の課題となっています。	交流機会が増えつつあるが機会を多く持てるように取り組むことが必要。 どのような交流をするのか課題となっている。		
49		本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の安心・安全を守りながら日々様々な活動を行い交流を広げ楽しみを持って日々過ごして頂けるように努めます。 地域の人々との交流機会を作る事が課題となっています。	全体的に各項目が出来ている。 地域資源の活用や地域との交流が今後の課題となる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	評価項目の中で17・18・26・28・30・34・39・44・47についてはグループホーム内を見学し状況を説明しながら評価を行った。 他の項目については会議録や実際に使用している資料をみて頂き評価を行った。 感染症の対策もあり地域交流も大変であったと思う。 今後少しずつ再開できれば良いと思います。